

目 次

. 総括研究報告

全国がん登録の利活用に向けた学会研究体制の整備とその試行、 臨床データベースに基づく臨床研究の推進、 及び国民への研究情報提供の在り方に関する研究における総括・・・・・・・・・・・・・・・・	1
平田公一	

. 分担研究報告

1. 臨床データベースの応用研究に関する適切な学会体制とは 乳癌学会の現状と将来の在り方・・・・・・・・・・・・・・・・	23
井本 滋	
2. 神経内分泌腫瘍臨床データベースの現状と将来・・・・・・・・	25
上本伸二	
3. 膵癌臨床データベースの現状と将来・・・・・・・・	27
海野倫明	
4. 前立腺癌臨床データベースの現状と将来・・・・・・・・	29
大家基嗣	
5. 甲状腺がん臨床データベースの現状と将来・・・・・・・・	32
岡本高宏	
6. 胃癌臨床データベースの現状と将来 消化器外科データベース関連学会協議会の運営体制の現状と将来展開・・・・・・・・	34
掛地吉弘	
7. 皮膚悪性腫瘍（悪性黒色腫、皮膚悪性リンパ腫）臨床データベースの現状と将来・・	37
加藤則人	
8. 骨軟部腫瘍臨床データベースの現状と将来・・・・・・・・	39
川井 章	
9. 小児腫瘍臨床データベースの現状と将来・・・・・・・・	42
木下義晶	
10. がん臨床データベースに関する本邦の現状と将来体制の在り方	45
弦間昭彦	
11. がん診療ガイドラインの推奨医療の質評価の現状と将来の在り方・・・・・・・・	47
河野浩二	
12. 希少がん診療ガイドラインの現状と臨床データベースの将来・・・・・・・・	49
小寺泰弘	
13. 大腸癌臨床データベースの現状と将来・・・・・・・・	51
小林宏寿	

14.	臨床データベースを活用する臨床研究の現状と将来 - 乳癌学会からみた有効活用の研究対象は -	53
	佐治重衡	
15.	本邦の臨床データベースの活用を考える - 米国 SEER 体制とその活動状況からの視点から -	55
	柴田亜希子	
16.	乳がん臨床データベースの登録頻度の悉皆性向上へ向けた現状と将来	57
	神野浩光	
17.	脳腫瘍の臨床データベースの現状と将来	59
	杉山一彦	
18.	今日の欧州連合 (EU) の臨床データベース体制から何を学び取ることが出来るか	61
	竹政伊知朗	
19.	肺癌の国内臨床データベース体制の現状とその将来 - 複合学会で構成する体制とその円滑な運営 -	63
	千田雅之	
20.	食道がんの臨床データベースの現状と将来	66
	藤 也寸志	
21.	婦人科領域癌 (卵巣癌、子宮癌) 臨床データベースの現状と将来	69
	永瀬 智	
22.	消化器間質性腫瘍 (GIST) 臨床データベースの現状と将来	71
	西田俊朗	
23.	膀胱癌、精巣がん臨床データベースの現状と将来	73
	西山博之	
24.	腎癌臨床データベースの現状と将来	76
	野々村祝夫	
25.	がん臨床データベースと専門医制度 - 消化器外科領域から見た悉皆性向上への効果と精度管理 -	78
	袴田健一	
26.	肝癌臨床データベースの現状と将来 - 通年登録研究と短期間前向き登録研究の実情・可能性 -	80
	長谷川 潔	
27.	胆道癌 (胆嚢癌、胆管癌、 Vater 乳頭部癌) 臨床データベースの現状と将来	83
	堀口明彦	
28.	特定課題臨床研究時の症例登録に関する基本必須事項とその体制に関する研究 - 第三者機関 N C D との共同研究の視点から -	85
	水島恒和	
29.	肺癌臨床データベースの現状と将来 - 通年登録研究と短期間前向き登録研究の実情・可能性 -	87
	吉野一郎	